

「新大分スタンダード」による主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導案

3年	教科	社会	指導者	日田 史子
単元名・題材名	世界恐慌と日本の中国侵略		時	1 / 全 5 時間
本時のねらい	A 世界恐慌の影響について			
	B 恐慌が起きた原因とアメリカとヨーロッパの関係とを関連付けて話し合う活動を通して			
	C 理解できるようにする。			
本時の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	【評価の方法】
	【評価規準】 大戦後のアメリカで起きた恐慌が、なぜ世界への影響が大きかったかを考え、理解することができる。			話し合いの観察 ワークシートのチェック(ロイロノート)
展開	めあて	「世界恐慌」について調べよう。		
	課題	一つの国で起こった恐慌が、世界中に影響をもたらしたのはなぜかな。		
	課題 (めあて) 提示後の 問題解決の 流れ	<p><b>【課題 (めあて) 提示後の問題解決の流れ】</b></p> <p>(個の思考 ①起きた原因から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカから始まったんだよね。・何で、株が暴落するんだろう ・「株で儲けた」って話聞いたことあるよね。</li> <li>・(もらった資料から)調べてみたら、その時の経済の状況で株の価格は上がったり下がったりするらしいね。</li> <li>・アメリカの経済の状況が急に悪くなったのはどうしてだろう。</li> </ul> <p>(個の思考 ②アメリカとヨーロッパの関係から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカはヨーロッパで第1次世界大戦が起きていた間、急速に経済成長したみたいだね。</li> <li>・(もらった資料から)調べてみたら、対戦でヨーロッパが工業生産できないから、アメリカに製品の発注が集中していたみたいだね。</li> </ul> <p>(グループで交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパが復興して、生産力が戻ってきたからアメリカの経済が不況になったんだね。</li> <li>・暴落したのは、アメリカの状況が不安で株を売る人が一気に現れたんだろうね。</li> </ul> <p>(全体交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカの恐慌が世界に広がったのは、アメリカが当時から世界の経済の中心でお金を借りたりしている国も多かったからだと思います。</li> </ul>		
	まとめ	アメリカは第一次大戦後に発展し、世界経済の中心だったのでアメリカの恐慌が「世界恐慌」となった。		
	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・影響力のある国で暴落が起きると大変だな。今よくニュースで「円安」って言ってるけどこれもアメリカの影響なのかな。</li> <li>・日本も影響を受けたみたいだね。日本は経済の不況を乗り越えるためにどうしたのかな。調べてみたいね。</li> </ul>		
「C:努力を要する」 状況の児童生徒への 手立て	【予想されるつまずき】	【必要な支援・手立て】(場面・方法 等)		
	「株」の意味がわからない	(個別の思考時) 具体的な例をあげて説明する		
	株価暴落と経済混乱が結び付けられない	(話し合い時) お金の動きについて、わかりやすく説明する		
	【個】資料の漢字が読めない	ルビを打った資料を用意して配布する。		